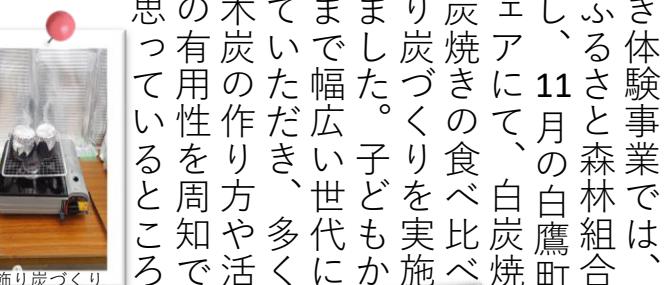


みんなの手で緑を守ろう



～やまがた緑環境税活用概要について～



炭焼き体験事業では、西置賜ふるさと森林組合と連携し、11月の白鷹町産業フェアにて、白炭焼きと黒炭焼きの食べ比べや、飾り炭づくりを実施いたしました。子どもから大人まで幅広い世代に参加していただき、多くの方に木炭の作り方や活用法等の有用性を周知で思つていいところです。



白鷹町では、やまがた緑環境税を活用して5つの事業を実施しております。各事業は、環境学習と郷土学習の推進を図る『自然森林学習事業』、小・中学生が木に親しむ『木工体験事業』、幼少期から木に親しむ『ファーストトイ事業』、木炭文化の普及啓発を目的にする『炭焼き体験事業』となります。それぞれの事業で産業、交流、伝統・文化と森林、木材の特色を生かした事業を開してきました。

事業の全体概要

自然・森林学習事業

子供たちが、森林に親しむ機会の創出に向け、町内学童保育の児童を対象に「県民の森」と「ローズレーン（米沢市）」をフィールドに自然・森林学習を行いました。

普段の生活では触れる事の少ない森林や昆虫に触れるなどの体験ができた他、木の名前や森林の働きなど習は非常に貴重な学習の機会だつたと思います。

森林学習推進事業では、町内の子供達を対象に、建築関係者が講師となり、町内の森林・林業における学習と木工教室を行いました。木工体験事業では、地元商工会建工部会を講師に、町内小学校・学童保育にて、町産材を利用した踏み台づくりを実施いたしました。森林に関わる総合的な学習から始まり、最終的には町産材により製品を作るという森林、木材に係る一貫的な学習を実施いたしました。

ファーストトイ事業については、9ヶ月児健診を迎えた子どもたちに町産スギ積み木の贈呈を実施しております。積み木は、白鷹町木材加工研究会が製作し、積み木の箱には、白鷹ゆるキャラ「べにたかちやん」の焼印を押しています。スギ材のやわらかく温かみのある肌触り、そして心地よい香りを実感できる積み木で大変好評をいただいています。

各事業にて、町産材を積極的に活用して、町民に広く森林の大切さ、森林・里山を含むふるさとのすばらしさ、森林・木材の可能性をPRできればと思つてゐるところです。

事業名：山形県みどり豊かな森林環境づくり推進事業
活動地：白鷹町内
令和6年 4月10日
編集：白鷹町 林政課

しらたかみどり通信



ファーストトイ事業

木工体験事業

自然・森林学習事業

さいごに